

プログラミングで学ぶ有限要素法

【目 次】

回数	章・節・タイトル	執筆者	掲載予定号
1	1. 講座をはじめるにあたって 1.1 講座の目的 1.2 講座の内容	渦岡良介 (東北大学)	4月号
2	2. プログラミングの基礎 2.1 プログラミングを始める前に 2.2 PCでプログラミングを行うために 2.3 プログラムの基本 2.4 プログラム例と基本文法	渦岡良介 (東北大学) 宮田喜壽 (防衛大学校) 山川優樹 (東北大学)	4月号
3	3. 線形弾性モデルを用いた変形解析 3.1 支配方程式 3.2 有限要素定式化 3.3 有限要素解析プログラム 3.4 解析例	渦岡良介 (東北大学) 宮田喜壽 (防衛大学校) 山川優樹 (東北大学)	5月号, 6月号
4	4. 弾塑性モデルによる応力-ひずみ関係の計算 4.1 土の材料特性と弾塑性モデル 4.2 一次元圧縮を対象とした弾塑性モデル 4.3 応力計算の方法	山川優樹 (東北大学) 宮田喜壽 (防衛大学校) 渦岡良介 (東北大学)	7月号
5	5. 弾塑性モデルを用いた変形解析 5.1 支配方程式 5.2 有限要素定式化 5.3 有限要素解析プログラム 5.4 解析例	渦岡良介 (東北大学) 山川優樹 (東北大学) 宮田喜壽 (防衛大学校)	8月号
6	6. 弾塑性モデルを用いた圧密解析 6.1 支配方程式 6.2 有限要素定式化 6.3 有限要素解析プログラム 6.4 解析例	渦岡良介 (東北大学) 宮田喜壽 (防衛大学校) 山川優樹 (東北大学)	8月号, 9月号
7	7. 講座を終えるにあたって	渦岡良介 (東北大学)	9月号